

# 水と間違えエタノール

## 呼吸器に2日、患者死亡

京大病院（京都市左京区、本田孔土病院長）で今

月二日死亡した入院女性

（20）の死因が、病院のミス

によるエタノール中毒だっ

たことが分かり、京都府警

捜査一課と川端署は七日ま

で、業務上過失致死容疑

で捜査を始めた。

同病院は、女性の人工呼

吸器に、呼吸器の加温用蒸

留水と間違えて二日間余り

消毒用エタノールを注入し

続け、この間、だれも気付

かなかったという。

捜査一課などは病院関係

者から治療経過などについ

て事情聴取、間違えた原因

の確認を急いでいる。

京大病院は同日、記者会

見しミスを認めて謝罪。家

族には三日、経緯を説明し

たとしている。

警察の調べや京大病院の

説明によると、女性は離病

のため、十年以上同病院で

入退院を繰り返しており、

常時人工呼吸器をつけてい

た。

しかし二月二十八日午後

六時ごろ、二十代の看護婦

が、蒸留水とエタノールの

容器を取り違え、病室に運

んだ。この後、複数の看護

婦らが十数回にわたり、注

射器で容器から人工呼吸

器にエタノールを注入。三

月一日午後十一時ごろ、容

器の残量を確認しようとし

て異常に気付いたとい

う。

女性は二日午後七時五十

四分に死亡。同病院は三日

、死因が特定できないとし

て死亡診断書に「急性心

不全」と記載し川端署に届

けた。司法解剖で六日、エ

タノール中毒死と判明し

た。

京大病院人工呼吸器エタノール事件  
府警捜査／病院会見  
2000年3月8日 東京新聞